

高松市公の施設指定管理者導入施設に対する評価

評価対象期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

施設名	高松市浅野児童館		
指定管理者	浅野校区コミュニティ協議会	施設所管課等	子育て支援課
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)	公募・非公募の別	非公募
所在地	高松市香川町浅野826番地8	業務の概要	・児童の健全育成業務 児童館行事、自由来館の際の児童との関わりを通して、集团的個別に指導を行う。 ・地域における児童の健全育成活動 ・設備施設管理
施設の概要	(施設) 鉄筋コンクリート 2階建 (職員の状況) 非常勤職員2人、スタッフ7人 (開館時間) 9:30～18:00 日・祝・年末年始は休館		

	項目名	令和4年度	令和3年度	項目名	令和4年度	令和3年度
利用状況等	児童館利用者数	9,863 人	9,075 人	児童館開設日数	293 日	259 日
	自主イベント開催数	25 回	20 回			
収支状況等	指定管理料	8,519 千円	8,519 千円		千円	千円
	支出実績	8,423 千円	8,511 千円		千円	千円
	精算残額(市へ返納)	95 千円	7 千円		千円	千円

評価基準	評価項目	指定管理者自己評価コメント	所管課等評価
2 住民の平等な利用確保	①管理運営、施設事業との関連性 ②平等な利用の確保	0歳から18歳までの児童が安心して遊べる場所、また子育てに携わる大人がくつろげる場所を目指して運営している。浅野校区だけでなく近隣の校区や高松中心部からの利用者も多く、また中高生の継続的な利用もある。いつでも自由に利用できる居場所としての運営が中心だが、利用者のニーズに応じた参加型のイベントも多数実施した。浅野コミュニティセンターと連携して行うイベントも多い。イベントは、乳幼児と保護者対象のもの、保護者のみ対象のもの(託児付き)、小中学生対象のもの、異年齢が交流できるものなど多種多様なイベントを企画し、幅広い年齢層が参加できるように工夫した。	A
3 施設の効用の最大限の発揮	①利用促進対策 ②広報・PR対策 ③企画事業・自主事業 ④市・関係団体・地域等との連携 ⑤サービス向上の取組 ⑥相談・苦情への対応	イベントの告知については2カ月に一度発行する児童館だより「Skip」で周知した。「Skip」を見て来館する方もいるが、口コミで来館する乳幼児親子が多い。働く母親が増加し、利用者のサイクルが短くなりつつある中でも乳幼児親子の利用者数は大きく伸びている。地域をあげて開催している「あさのこどもまつり」を3年ぶりに開催し、約1,000人もの来場者があり大盛況だった。子育ての拠点として、児童館は地域の方に定着している。浅野こども園の出前保育を年8回実施し、特にこども園への入園を希望している保護者からは好評を得た。浅野小学校や民生委員児童委員、地域の保健師の方とは常に連携し、気になる児童についてはすぐに報告と相談をし、それぞれの立場で見守りを行っている。保護者からの子育ての相談などには真摯に対応し、職員間で情報を共有するようにした。苦情などは無かった。利用者アンケートの結果からも、満足度の高さがうかがえる。 ※アンケート(設問数8問・回答数32人)年1回実施	S
4 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保	①職員確保計画等 ②教育・研修 ③就業規則等の遵守 ④施設運営の健全性の確保 ⑤損害保険等 ⑥収支計画と執行管理	児童館のイベントや校区の小中学校の下校時間から見込まれる来館者数に合わせて、職員やスタッフを配置し、効率のよいローテーションを組んだ。職員研修については、香川県児童館連絡協議会主催の研修会や子育て支援課主催の研修会に積極的に参加し、スキルアップを心掛けた。スタッフを含めた職員の健康診断も行った。損害保険については、児童安全共済に加入し、万が一の怪我や事故に備えたが利用者には大きな怪我や事故はなく、安全に過ごすことができた。施設の管理経費については、適切な執行管理に努め外部監査人の監査を受けた。	A
5 管理に係る経費の縮減	①収入の確保・適正な人件費 ②運営経費の節減対策・コミュニティビジネスの視点 ③経営の効率化 ④合理的な会計制度	冷暖房の温度設定を徹底したり、こまめに電気を消したりして省エネに努めた。常に換気をしながらの空調になったものの、電気代が高等する中、今年の電気代をわずかに下回ることができた。消耗品などの物品の購入はなるべく低価格で購入し、低コストを心掛けた。決算や監査結果については浅野校区コミュニティ協議会の総会資料において公開し、開かれた会計制度とした。	A

総合評価コメント	総合評価
条例や各種マニュアルを遵守し、施設の維持管理及び運営が適正に行われている。月に一度の避難訓練を実施しており、職員の安全管理意識の向上が図られている。 新型コロナウイルス感染症の影響もある中で、職員の資質向上のため、香川県児童館連絡協議会や子育て支援課が主催する研修会にも積極的に参加し、研修で身に付けたスキルを施設運営や行事の内容に活かしており、来館者数は増加している。 浅野校区コミュニティ協議会が指定管理を行っている浅野コミュニティセンターや地域の保育所と連携して行事を開催することで、地域に根差した子育て支援の拠点としての機能を発揮しており、子育て中の母親や親子を対象とした行事も毎年好評を得ている。また、地域の民生委員や保健師との連携により、個別の児童に対するきめ細かいケアが実施できていることも評価できる。 浅野児童館は、子育て支援課所管の児童館の中で最も利用者が多く、そのほとんどがリピーターであることから、利用者の満足度の高さがうかがえる。今後も引き続き利用者に寄り添った運営を実施することで、地域における児童健全育成活動の拠点施設としての役割を果たすことを期待する。	A